

糖尿病
ワンポイントアドバイス



糖尿病のくすり



糖尿病は、インスリンの分泌が不足したり、インスリンの働きが悪くなったりして、慢性の高血糖となる病気です。高血糖状態が長く続くと網膜症や腎症、神経障害などさまざまな合併症のリスクが高くなります。特にHbA1cが7.0%以上では合併症の頻度が増加すると言われています。**治療の目的は、高血糖状態を改善し、合併症を予防・悪化を阻止することです。**

一言で糖尿病といっても原因は様々で、1型・2型・妊娠・その他に分類されています。日本人では糖尿病の90%は2型糖尿病ですので、一般的に糖尿病といえばこのタイプです。**まずは食事療法と運動療法を行い、それでも十分に血糖値が改善しない場合に薬を使用します。**1型や妊婦糖尿病ではインスリン製剤での治療が必要不可欠となります。

近年、新しい作用の糖尿病薬が次々に登場し

ています。内服薬には、インスリン分泌を促す／インスリンの働きをよくする／糖質の消化吸収を遅らせる／尿と一緒に糖を排出させる等の作用をもつ薬、注射薬には、インスリン製剤／インスリン分泌を促す作用をもつ薬があります。これらの中から患者様の病状に応じて最も適した薬が処方されますが、薬の種類によって用法(食直前・食前・食後)や用量、副作用などが異なりますので、**自分がどの種類の薬を使用していて、その薬にはどのような特徴があるのかをしっかりと把握し、正しく服用・使用することが、より良い血糖コントロールを達成するために重要です。**治療でわからないことがあれば自己判断をせずに必ず主治医や薬剤師に相談しましょう。(薬剤科 伊藤 大輔)

医療福祉相談室 だより

「医療費控除」について

確定申告の「医療費控除」についてご案内します。

その年の1月から12月までの間で、一定以上の医療費を支払われた方が確定申告を行うことにより、一定額の所得控除が受けられる、という制度です。

毎年2月中旬頃より確定申告のシーズンが始まりますが、「医療費控除」の確定申告は一般的なシーズンを避けて申告することが可能で、5年以内に申告をすれば良いことになっています。

詳しくは、当院正面玄関横に「医療費控除」のパンフレットを作成してあり

ますので、ご確認いただくか、医療福祉相談室へご相談に来ていただければと思います。

なお、確定申告には領収証が必要となりますが、当院では領収証の再発行ができませんので、領収証は大切に保管しておいてください。



(ソーシャルワーカー 三好 亮司)

糖尿病学習会のお知らせ

《医療従事者対象》

- ▶平成28年2月17日(水)
18:00～
- ▶三重病院中央棟大会議室
- ▶「糖尿病治療薬Q&A」
- ▶講師：薬剤師

▶問い合わせ先：
059-232-2531
教育研修係長 沢口まで

